



# CDR 検索の設定

CAR は、次の 3 つのレベルのユーザ用のレポート機能を備えています。このレベルとは、管理者、マネージャ、および個々のユーザです。CDR 検索を使用できるのは、CAR 管理者だけです。

この章の構成は、次のとおりです。

- [ユーザ内線番号による CDR 検索の設定 \(P.21-2\)](#)
- [ゲートウェイによる CDR 検索の設定 \(P.21-4\)](#)
- [コール終了の原因による CDR 検索の設定 \(P.21-7\)](#)
- [コール終了の詳細の表示 \(P.21-9\)](#)
- [コール優先レベルによる CDR 検索の設定 \(P.21-12\)](#)
- [悪意のあるコールの CDR 検索の設定 \(P.21-16\)](#)

## 始める前に

システムが CDR データおよび CMR データを生成できるように、Cisco CallManager サービス パラメータ CDR Enabled Flag および Call Diagnostics Enabled を true (使用可能) に設定したことを確認します。デフォルトでは、これらのサービス パラメータは使用不可になっています。これらのサービス パラメータの詳細については、『*Cisco CallManager アドミニストレーションガイド*』を参照してください。

すべての CAR レポートで、CDR データが使用されます。最新の CDR データからレポートが作成されるようにしてください。デフォルトでは、CDR データは毎日深夜 0 時～午前 5 時にロードされます。しかし、必要に応じて、ロードの時刻、間隔、持続期間を設定できます。詳細については、[P.16-13 の「システムスケジューラの設定」](#)を参照してください。

## ユーザ内線番号による CDR 検索の設定

ユーザ内線番号による CDR 検索機能を使用するのは、CAR 管理者だけです。

ここでは、ユーザまたは内線番号に基づく CDR データの詳細情報を表示する方法を説明します。



### 注意

CAR は、オフピーク時だけ使用してください。それ以外の時間に使用すると、データの収集とレポートの生成により、Cisco CallManager システムのパフォーマンスが低下することがあります。半角カタカナの IP Phone サービス名は、表示画面および PDF ファイルでは文字化けして表示されますのでご注意ください。

### 手順

**ステップ 1** CDR > Search > By User/Extension の順に選択します。

CDR Search by User Extension ウィンドウが表示されます。



(注) 「!」や「X」などのワイルドカード パターンを入力して、内線番号を検索できます。「!」は各桁が 0～9 のいずれかである任意の n 桁を示し、「X」は 0～9 の範囲の 1 桁を示します。

**ステップ 2** 次のいずれかの操作を実行します。

- 内線番号に基づいて CDR を検索するには、Extension フィールドに内線番号を入力し、**Add Extension** ボタンをクリックします。
- ユーザに基づいて CDR を検索するには、**Search Extension(s) based on User(s)** リンクをクリックし、First Name フィールドまたは Last Name フィールドに名前または姓の最初の数文字を入力して、**Search** ボタンをクリックします。結果が表示されたら、含める結果の横にある **Select** リンクをクリックします。**Close** ボタンをクリックします。

内線番号が Selected Extension(s) ボックスに表示されます。



(注) Report Criteria ボックスから項目を削除するには、**Remove Extension(s)** ボタンをクリックします。**Remove All Extensions** ボタンをクリックすると、Report Criteria ボックスからすべての項目を削除できます。

**ステップ 3** 指定したユーザまたは内線番号について CDR データを表示する期間の日付範囲を選択します。

**ステップ 4** **OK** ボタンをクリックします。

CDR-CMR Results ウィンドウが表示されます。検索で 100 件を超えるレコードが検出された場合、結果の切り捨てを通知するメッセージが表示されます。

**ステップ 5** CMR データを表示するには **Others** ボタンをクリックします。CDR と CMR の両方のデータ フィールドを表示するには **View** ボタンをクリックします。

**ステップ 6** レポートを電子メール受信者にメールで送信するには、[P.18-24](#) の「**レポートのメール送信**」の手順を実行します。

### 関連項目

- [CDR 検索結果の概要 \(P.A-35\)](#)
- [メディア情報 \(P.A-37\)](#)
- [CDR ダンプ テーブルおよび CMR ダンプ テーブル \(P.A-38\)](#)
- [ゲートウェイによる CDR 検索の設定 \(P.21-4\)](#)
- [コール終了の原因による CDR 検索の設定 \(P.21-7\)](#)
- [コール終了の詳細の表示 \(P.21-9\)](#)
- [コール優先レベルによる CDR 検索の設定 \(P.21-12\)](#)
- [悪意のあるコールの CDR 検索の設定 \(P.21-16\)](#)

## ゲートウェイによる CDR 検索の設定

ゲートウェイによる CDR 検索機能を使用するのは、CAR 管理者だけです。

ここでは、特定のゲートウェイ タイプ、または選択されたルート パターンを使用するゲートウェイに基づいて、CDR データを検索する方法を説明します。



### 注意

CAR は、オフピーク時だけ使用してください。それ以外の時間に使用すると、データの収集とレポートの生成により、Cisco CallManager システムのパフォーマンスが低下することがあります。半角カタカナの IP Phone サービス名は、表示画面および PDF ファイルでは文字化けして表示されますのでご注意ください。

### 手順

**ステップ 1** CDR > Search > By Gateway の順に選択します。

CDR Search by Gateway ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 次のいずれかの操作を実行します。

- レポートに含めるゲートウェイのタイプを選択するために、ウィンドウの左側の列にある **Gateway Types** をクリックします。  
ツリー構造が展開され、ゲートウェイ タイプのリストが表示されます。
- ゲートウェイ タイプではなく、特定のルート パターンまたはハント リストを使用するゲートウェイだけを指定するには、ウィンドウの左側の列にある **Route Patterns/Hunt Pilots** をクリックします。  
ツリー構造が展開され、ルート パターンおよびハント パイロットのリストが表示されます。



**(注)** ウィンドウ左側の列にある Route Patterns/Hunt Pilots ボックスにルート パターンまたはハント パイロットの名前の一部を入力して、特定のルート パターンまたはハント リストを検索することもできます。CAR は、検索文字列と一致するルート パターンまたはハント リストを検索します。

**ステップ 3** リストからゲートウェイ タイプを選択します。

ゲートウェイの名前が List of Gateways ボックスに表示されます。



**(注)** List of Gateways ボックスには、選択したゲートウェイ タイプに設定されているゲートウェイが 200 個まで表示されます。

**ステップ 4** List of Gateways ボックスで、レポートに含めるゲートウェイを選択します。



**(注)** 一度に最大 15 個のゲートウェイにレポートを作成できます。

**ステップ 5** 下向き矢印アイコンをクリックして、選択したゲートウェイを Selected Gateways ボックスのリストに移動させます。

選択したゲートウェイが Selected Gateways ボックスに表示されます。

**ステップ 6** CDR データを検索する期間の日時の範囲を選択します。

**ステップ 7** **OK** ボタンをクリックします。

CDR-CMR Results ウィンドウが表示されます。検索で 100 件を超えるレコードが検出された場合、結果の切り捨てを通知するメッセージが表示されます。

**ステップ 8** CMR データを表示するには **Others** ボタンをクリックします。CDR と CMR の両方のデータ フィールドを表示するには **View** ボタンをクリックします。

**ステップ 9** レポートを電子メール受信者にメールで送信するには、[P.18-24](#) の「[レポートのメール送信](#)」の手順を実行します。

**関連項目**

- [CDR 検索結果の概要 \(P.A-35\)](#)
- [メディア情報 \(P.A-37\)](#)
- [CDR ダンプ テーブルおよび CMR ダンプ テーブル \(P.A-38\)](#)
- [ユーザ内線番号による CDR 検索の設定 \(P.21-2\)](#)
- [コール終了の原因による CDR 検索の設定 \(P.21-7\)](#)
- [コール終了の詳細の表示 \(P.21-9\)](#)
- [コール優先レベルによる CDR 検索の設定 \(P.21-12\)](#)
- [悪意のあるコールの CDR 検索の設定 \(P.21-16\)](#)

## コール終了の原因による CDR 検索の設定

コール終了の原因による CDR 検索機能を使用できるのは、CAR 管理者だけです。

ここでは、コール終了の原因に関する情報を検索する方法を説明します。

### 手順

**ステップ 1** CDR > Search > By Cause for Call Termination の順に選択します。

Cause for Call Termination ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** コール終了の原因を検索するには、コール終了原因のリストで原因を強調表示します。



### ヒント

キーボードの **Ctrl** キーを押した状態でクリックすると、複数の原因を選択できます。また、**Shift** キーを押した状態ですべての原因をクリックすると、リスト内の原因をすべて選択できます。

**ステップ 3** 選択した原因が強調表示されている状態で、Selected Call Termination Causes ボックスの上にある下向き矢印アイコンをクリックします。

Selected Call Termination Causes リスト ボックスに、選択した原因が表示されません。

**ステップ 4** CDR データを検索する期間の日時の範囲を選択します。

現在の時刻が、グリニッジ標準時と現地時間で表示されます。

## ■ コール終了の原因による CDR 検索の設定

**ステップ 5** OK をクリックします。

Call Termination Details ウィンドウに、レポートが生成されたときのレポート基準、特定の時間の範囲に発信されたコールの合計数、および選択した原因コードごとのコール レッグの数とコール レッグの割合が表示されます。

**ステップ 6** CDR を表示するには、[P.21-9](#) の「[コール終了の詳細の表示](#)」を参照してください。

---

**関連項目**

- [CDR 検索結果の概要 \(P.A-35\)](#)
- [メディア情報 \(P.A-37\)](#)
- [CDR ダンプ テーブルおよび CMR ダンプ テーブル \(P.A-38\)](#)
- [ユーザ内線番号による CDR 検索の設定 \(P.21-2\)](#)
- [ゲートウェイによる CDR 検索の設定 \(P.21-4\)](#)
- [レポートのメール送信 \(P.18-24\)](#)
- [コール終了の詳細の表示 \(P.21-9\)](#)
- [コール優先レベルによる CDR 検索の設定 \(P.21-12\)](#)
- [悪意のあるコールの CDR 検索の設定 \(P.21-16\)](#)

## コール終了の詳細の表示

ここでは、コール終了の詳細の表示方法を説明します。

### 始める前に

P.21-7 の「コール終了の原因による CDR 検索の設定」の手順に従います。この手順によって、Call Termination Details ウィンドウが表示されます。このウィンドウには、レポートが生成されたときのレポート基準、および特定の時間の範囲に発生したコールの合計数が一覧表示されます。

### 手順

- ステップ 1** Select CDRs フィールドで、表示する CDR の横にあるチェックボックスをそれぞれオンにします。または、リスト内の CDR をすべて表示する場合は、Select CDRs チェックボックスをオンにします。図 21-1 を参照してください。

図 21-1 Call Termination Details ウィンドウ

The screenshot shows the 'Call Termination Details' window in the Cisco Call Manager interface. The page title is 'CDR Analysis and Reporting For Cisco IP Telephony Solutions'. The main content area displays the following information:

**Report Criteria:**  
**From Time:** Jul 17, 2003 10:30:00 **To Time:** Oct 3, 2003 09:26:28  
**Total Number of Calls:** 102

Buttons: Send Report, Back, View CDRs

Call Termination Cause Value	Call Termination Cause Definition	Number of Call Legs	Percentage of Call Legs	Select CDRs *
1	Unallocated (unassigned) number	2	0.98	<input checked="" type="checkbox"/>
Total		2	0.98	

Status: Ready  
Buttons: Send Report, Back, View CDRs

Note: Cause Values that are not reason for any call leg termination, are not shown in the report.

\* indicates required item

## ■ コール終了の詳細の表示

**ステップ 2** 表示する CDR を選択したら、**View CDRs** をクリックします。

CDR-CMR Search Results ウィンドウが表示されます。図 21-2 を参照してください。

図 21-2 CDR-CMR 検索の結果

**Cause for Call Termination - CDR-CMR Search Results**

**Report Criteria**  
**From Time:** Jul 17, 2003 10:30:00 **To Time:** Oct 3, 2003 09:26:28

Sl No	Call Type	GCID_CMRId GCID_CallId	Orig Node Id Dest Node Id	Orig Leg Id Dest Leg Id	Calling No Calling Partition	Called No Called Partition	Dest No Dest No Partition	Last Rd. No Last Rd. No Partition	Media Info Orig Pkts Rcd Dest Pkts Rcd Orig Pkts Lost Dest Pkts Lost	CDR - CMR Dump
Call Termination Cause Value = 1										
1	Simple	1 2	1 0	16777219 0	402				431 0	null null <a href="#">Others</a> <a href="#">View</a>
2	Simple	1 3	1 0	16777222 0	402				431 0	null null <a href="#">Others</a> <a href="#">View</a>

Status: Ready

<< < > >> Send Report Back Page 1 of 1 Get Page 1

\* indicates required item

このウィンドウで、**Others** リンクと **View** リンクをクリックすると、メディア情報と CDR-CMR ダンプ レコードが表示されます。CDR 検索結果レポートの読み方については、P.A-35 の「CDR 検索結果の概要」を参照してください。

**ステップ 3** レポートを電子メールで送信するには、**Send Report** をクリックし、P.18-24 の「レポートのメール送信」に記載されている手順を実行します。

**関連項目**

- [メディア情報 \(P.A-37\)](#)
- [CDR ダンプ テーブルおよび CMR ダンプ テーブル \(P.A-38\)](#)
- [ユーザ内線番号による CDR 検索の設定 \(P.21-2\)](#)
- [ゲートウェイによる CDR 検索の設定 \(P.21-4\)](#)
- [レポートのメール送信 \(P.18-24\)](#)
- [コール終了の原因による CDR 検索の設定 \(P.21-7\)](#)
- [コール優先レベルによる CDR 検索の設定 \(P.21-12\)](#)
- [悪意のあるコールの CDR 検索の設定 \(P.21-16\)](#)

## コール優先レベルによる CDR 検索の設定

コール優先レベルによる CDR 検索機能を使用するのは、CAR 管理者だけです。

ここでは、コール優先レベルに従ってコールを検索する方法を説明します。

### 手順

**ステップ 1** CDR > Search > By Call Precedence Level の順に選択します。

CDR Search by Precedence Levels ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** Select Precedence Levels で、検索するコール優先レベルのチェックボックスをオンにします。優先レベルについては、[表 21-1](#) を参照してください。



**(注)** すべての優先レベルのチェックボックスをオンにするには、**Select All** をクリックします。すべての優先レベルのチェックボックスをオフにするには、**Clear All** をクリックします。

**ステップ 3** From Date フィールドで、CDR を検索する期間の開始日時を選択します。

**ステップ 4** To Date フィールドで、CDR を検索する期間の終了日時を選択します。

**ステップ 5** OK をクリックします。

Call Precedence Details ウィンドウが表示され、コール優先レベルと値、コールレグの数、およびコールレグの割合が示されます。[図 21-3](#) を参照してください。

図 21-3 Call Precedence Details

**Call Precedence Details**

Report Criteria:  
**SelectedPrecedenceLevels:** FLASH OVERRIDE,FLASH,IMMEDIATE,PRIORITY,ROUTINE  
**From Time:** Jan 29, 2001 00:00:00 **To Time:** Mar 29, 2002 15:06:44  
**Total Number of Calls :** 6

Buttons: Send Report, Back, View CDRs

Call Precedence Value	Call Precedence Definition	Number of Call Legs	Percentage of Call Legs	Select CDRs *
0	FLASH OVERRIDE	2	16.67	<input checked="" type="checkbox"/>
1	FLASH	3	25.00	<input checked="" type="checkbox"/>
2	IMMEDIATE	2	16.67	<input checked="" type="checkbox"/>
3	PRIORITY	2	16.67	<input checked="" type="checkbox"/>
4	ROUTINE	3	25.00	<input checked="" type="checkbox"/>
Total		12	100.00	

Status: Ready

Buttons: Send Report, Back, View CDRs

\* indicates required item

98740

**ステップ 6** Select CDRs 列で、表示する CDR のチェックボックスをオンにします。

**ステップ 7** View CDRs ボタンをクリックします。

CDR Search by Precedence Levels - Results ウィンドウが表示されます。図 21-4 を参照してください。

検索で 100 件を超えるレコードが検出された場合、結果の切り捨てを通知するメッセージが表示されます。

## ■ コール優先レベルによる CDR 検索の設定

図 21-4 CDR Search by Precedence Levels - Results

Sl No	Call Type	GCID_CMid GCID_CallId	Orig_Node Id Dest Node Id	Orig Leg Id Dest Leg Id	Calling No Calling Partition	Called No Called Partition	Dest No Dest No Partition	Last Rd. No Last Rd. No Partition	Media Info Orig Pkts Rcd Orig Pkts Lst	Dest Pkts Rcd Dest Pkts Lst	CDR CMP Dump
Precedence Level = 0											
1	TRANSFER	1 19	1 1	16777276 16777277	3000	5000	5000	5000		Others	View
2	TRANSFER	1 20	1 1	16777279 16777280	3000	2000	2000	2000		Others	View
Precedence Level = 1											
3	TRANSFER	1 19	1 1	16777276 16777277	3000	5000	5000	5000		Others	View
4	TRANSFER	1 20	1 1	16777279 16777280	3000	2000	2000	2000		Others	View
5	SIMPLE	1 20	1 1	16777298 16777298	2000					Others	View
Precedence Level = 2											
6	SIMPLE	1 25	1 1	16777290 16777290	3000	5000	5000	5000		Others	View
7	SIMPLE	1 25	1 1	16777289 16777290	3000	5000	5000	5000		Others	View
Precedence Level = 3											
8	SIMPLE	1 27	1 0	16777294 0	2000	1111	1111	1111		Others	View
9	SIMPLE	1 28	1 0	16777296 0	2000					Others	View
Precedence Level = 4											
10	SIMPLE	1 27	1 0	16777294 0	2000	1111	1111	1111		Others	View
11	SIMPLE	1 28	1 0	16777296 0	2000					Others	View
12	SIMPLE	1 29	1 0	16777298 0	2000					Others	View

Status: Ready

<< < > >> Send Report Back Page 1 of 1 Get

\* indicates required item

99754

**ステップ 8** CMR データを表示するには **Others** ボタンをクリックします。CDR と CMR の両方のデータ フィールドを表示するには **View** ボタンをクリックします。

表 21-1 コール優先レベル

優先レベル	優先順位	説明
Flash Override	0	
Flash	1	
Immediate	2	
Priority	3	
Routine	4	

**ステップ 9** レポートを電子メール受信者にメールで送信するには、**Send Report** をクリックし、[P.18-24](#) の「レポートのメール送信」の手順を実行します。

#### 関連項目

- [CDR 検索結果の概要 \(P.A-35\)](#)
- [メディア情報 \(P.A-37\)](#)
- [CDR ダンプ テーブルおよび CMR ダンプ テーブル \(P.A-38\)](#)
- [レポートのメール送信 \(P.18-24\)](#)
- [ユーザ内線番号による CDR 検索の設定 \(P.21-2\)](#)
- [ゲートウェイによる CDR 検索の設定 \(P.21-4\)](#)
- [コール終了の原因による CDR 検索の設定 \(P.21-7\)](#)
- [コール終了の詳細の表示 \(P.21-9\)](#)
- [悪意のあるコールの CDR 検索の設定 \(P.21-16\)](#)

## 悪意のあるコールの CDR 検索の設定

悪意のあるコールの CDR 検索機能を使用するのは、CAR 管理者だけです。

ここでは、悪意のあるコールを検索する方法を説明します。

### 手順

**ステップ 1** CDR > Search > For Malicious Calls の順に選択します。

CDR Search for Malicious calls ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 次のいずれかの操作を実行します。

- Select Extension(s) ボックスの Extension フィールドに内線番号を入力し、**Add Extension** をクリックします。  
ユーザの内線番号が Selected Extension(s) ボックスに表示されます。
- ユーザの内線番号を検索するには、**Search Extension(s) based on User(s)** リンクをクリックし、First Name フィールドまたは Last Name フィールドに名前または姓の最初の数文字を入力して、**Search** ボタンをクリックします。結果が表示されたら、含める結果の横にある **Select** リンクをクリックします。そのユーザと関連付けられた内線番号が Selected Extension(s) ボックスに表示されます。**Close** ボタンをクリックします。



**(注)** 内線番号を削除するには、削除する内線番号を強調表示し、**Remove Extension(s)** をクリックします。すべての内線番号を削除するには、**Remove All Extensions** をクリックします。

**ステップ 3** CDR データを検索する期間の日時の範囲を選択します。

**ステップ 4** **OK** をクリックします。

CDR-CMR Results ウィンドウが表示されます。検索で 100 件を超えるレコードが検出された場合、結果の切り捨てを通知するメッセージが表示されます。

- ステップ 5** CMR データを表示するには **Others** ボタンをクリックします。CDR と CMR の両方のデータ フィールドを表示するには **View** ボタンをクリックします。
- ステップ 6** レポートを電子メール受信者にメールで送信するには、[P.18-24](#) の「[レポートのメール送信](#)」の手順を実行します。
- 

### 関連項目

- [CDR 検索結果の概要 \(P.A-35\)](#)
- [メディア情報 \(P.A-37\)](#)
- [CDR ダンプ テーブルおよび CMR ダンプ テーブル \(P.A-38\)](#)
- [レポートのメール送信 \(P.18-24\)](#)
- [ユーザ内線番号による CDR 検索の設定 \(P.21-2\)](#)
- [ゲートウェイによる CDR 検索の設定 \(P.21-4\)](#)
- [コール終了の原因による CDR 検索の設定 \(P.21-7\)](#)
- [コール終了の詳細の表示 \(P.21-9\)](#)
- [コール優先レベルによる CDR 検索の設定 \(P.21-12\)](#)

■ 悪意のあるコールの CDR 検索の設定